

平成24年度卒業論文

# 麻雀におけるプロと素人の違い

所属ゼミ 村澤ゼミ

学籍番号 1090401093

氏名 中 喜重

大阪府立大学経済学部

## 要約

麻雀は運の要素が強いゲームであるがその中でもプロと呼ばれる人たちが存在する。ではプロと素人での打ち方の違いはどのようなところに出てくるのか。本稿では日本プロ麻雀協会とオンライン麻雀ゲーム「雀龍門」の牌譜を用いてプロと素人の打ち方の違いをデータ分析によって求める。

第 1 章	はじめに .....	4
第 2 章	先行研究.....	4
第 3 章	データについて .....	4

## 第 1 章 はじめに

## 第 2 章 先行研究

## 第 3 章 データについて

本稿で用いられるデータは「日本プロ麻雀協会」が提供しているものである。日本プロ麻雀協会とは、麻雀の普及と発展に関する事業を行い、人類文化の向上に寄与することを目的とする社団法人団体である。当協会では雀王戦、雀竜戦、オープン戦などさまざまなタイトル戦がある。ルール・役は一般的に広く使われているものを採用する。ここでは本稿で用いる雀王戦と雀竜位戦について述べる。

雀王戦はリーグ形式のタイトル戦で、C3 より始まり、C2・C1・B2・B1 と続き、A が最高リーグとなる。A リーグ全 10 節終了時、上位 3 人が決定戦に進出。前年度雀王を交え決定戦が行われる。勝ち負けによってリーグの昇降がある。

雀竜位戦はランキング制のタイトル戦である。C 級予選から始まり、C 級・B 級・A 級と勝ち進み、A 級終了時、上位 3 名が決定戦に進出。前年度雀竜位を交え決定戦が行われる。

順位の決め方であるが、当協会では、半荘戦を繰り返し行い、1 回戦ごとのポイントの合計で決める。ポイントの付け方は 25,000 点の 30,000 点返しで、1,000 点を 1P とする。オーラス終了時点で 30,000 点からの得失点でポイントをつける。さらに、1 位 +50P、2 位 +10P、3 位  $\Delta$ 10P、4 位  $\Delta$ 30P をそれぞれ加算する。このポイントの合計で順位をつけるのである。

本稿では日本プロ麻雀協会に所属している 8 名の雀士のデータを用いた。試合 1 局ごとに局名、親、上がった人、上がりの種類・巡目・点などを記録した。下記の表はその記録から 8 名の試合での打ち筋などをまとめたものである。また、8 名のうち鈴木、崎見、須田、小倉の 4 名は第 8 期雀王決定戦、中里、大脇、福田、中林の 4 名は第 8 期雀竜位決定戦で対局している。

	鈴木	崎見	須田	小倉	中里	大脇	福田	中林	平均
上がり率	38.6	15.9	18.2	18.2	14.6	31.7	18.3	25.6	22.6
ツモ	64.7	42.9	25.0	50.0	25.0	50.0	66.7	38.1	45.3
ロン	35.3	57.1	75.0	50.0	75.0	50.0	33.3	61.9	54.7
連チャン率	29.4	33.3	27.3	20.0	27.8	29.2	26.7	32.0	28.2
振り込み率	7.8	18.2	11.4	9.1	13.4	8.5	12.2	12.2	11.6
リーチ率	18.2	20.5	29.5	25.0	14.6	29.7	23.2	18.3	22.4
鳴き率	36.7	20.5	18.2	20.5	22.0	24.4	9.8	30.5	22.8
最終結果	245.5	-181.0	-250.4	179.9	-238.9	150.8	-23.6	111.7	

t-検定 : 分散が等しくないと仮定した2標本による検定

	変数 1	変数 2
平均	3.458333	3.477564
分散	0.763532	0.841939
観測数	312	312
仮説平均との差異	0	
自由度	621	
t	-0.26809	
P(T<=t) 片側	0.394361	
t 境界値 片側	1.647311	
P(T<=t) 両側	0.788723	
t 境界値 両側	1.96379	